

アークフラッシュ施工された老人施設 6年間インフルエンザの発症が報告されておりません

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

<< 感染症 >>

群馬県食品監視課は5日、草津町草津の観光ホテル「ホテルおおるり」に宿泊した団体観光客87人が下痢や吐き気などの食中毒症状を訴え、このうち9人からノロウイルスが検出されたと発表した。入院するなどの重症者はなく全員が快方に向かっているという。県は同日から3日間、同ホテルの調理場を使った営業を停止処分にした。

同課によると、栃木、埼玉など7都県、87人の発症者は、先月28～29日の宿泊客に集中していた。県内の発症者はなかった。調理場の従業員6人からもノロウイルスが検出され、「従業員を介した2次感染の疑いがある」としている

新潟市は3日、東区大山2の市立特別養護老人ホーム「大山台ホーム」(渡辺敏郎所長、入所者99人)で74～99歳の14人がノロウイルスによる感染性胃腸炎を発症したと発表した。

1階の入所者が先月27日から下痢や吐き気などを訴え、検体からノロウイルスが検出された。いずれも快方に向かっているというが、感染源は特定できていない

<< アークフラッシュ施工事故 >>

新潟の元アークフラッシュ施工会社V-NETの桑原社長の指導の基に福島の前アークフラッシュ代理店アップルの佐藤社長が施工した福島県施設内から塗膜のようなものが剥離する事態が起こり調査いたしました。

原因は施工講習で禁じられている手法(塗り潰し)の施工がされており本来は膜の施工をしてはいけない物をしておりました。

すでに2社とも代理店を脱退しており、そのクレームはアークフラッシュ自体の信用を著しく低下させるものとなってまいっております。

本部では、代理店の脱退後も施工を受けた顧客が信頼を置ける施工をして頂けるように、新たに代理店に対して対策を協議して頂いております。

保険会社とも保険によるカバーを協議しており、今後は代理店脱退後のホローも良くなるものと思います。

本部講習を著しく逸脱した施工をしなければこのような事故は防止できるはずですが、一時の利益のみに注目した結果とおもいます。

<<千葉県白井南山団地施工完了>>

約1年に渡り工事を進めてまいりました白井南山団地13棟が今月18日に施工完了となります。代理店各店の施工協力をありがとうございました。

本部では、今後もこのような大規模の施工工事を代理店の皆様に施工して頂けるように努力してまいります。



*** 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.com

1号～68号までを配信希望の方はメールにて申込ください。